

帝京大学大学院公衆衛生学研究科

第5回 ハーバード特別講義

Harvard Special Session 2016

2016年1月 開催

帝京大学は、1993年のハーバード大学との学術提携以来、学生・教員の交流、国際共同シンポジウム等を通じて、わが国の公衆衛生学の発展に寄与してきました。本講義は、帝京大学が推進するコンピテンシー基盤型教育の一環として行っています。2012年1月、ハーバード大学より各分野で世界的に活躍する教授陣5名をお招きして第1回を開講しました。その後は学術提携校であるケンブリッジ大学から Peter Baxter 先生、ダラム大学から David Hunter 先生、オックスフォード大学から Martin Burton 先生（英国コ克蘭センター理事）を招聘しています。さらに、疫学の世界的権威である Kenneth Rothman 先生を迎えての講義もありました。毎年、国内外より延べ100名近い受講生が参加しており、貴重な国際交流の場となっています。

特別講義では疫学、生物統計学のみならず、社会行動疫学、保健行政管理学、環境産業保健学といった公衆衛生を学ぶうえで必須となる5領域を網羅する授業をおこなっており、各分野の海外最新事情や最先端の知識に触れる絶好の機会となっています。参加者の経歴・専門領域・国籍も例年多彩で、授業ではしばしば小グループに分かれてのインタラクティブな討論のなか、さまざまな立場からの意見が交わされるなど活発な学びの場を供しています。公衆衛生上の諸課題に日々取り組まれる多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

2015年10月出願受付開始

(詳しくは ⇒ <http://harvardspecialsession.web.fc2.com/index.html>)

開講科目	講師	開講日	講義室
Epidemiology	Effrossyni Gkrania-Klotsas	1月5日-8日	帝京大学 板橋キャンパス 大学棟本館
Biostatistics	Marcello Pagano	1月13日-16日	
Behavioral Science / Social Epidemiology	Ichiro Kawachi	1月9日-12日	
Health Policy Management	Alastair Gray	1月23日-26日	
Occupational and Environmental Health	Stefanos Kales	1月17日-20日	

※全8コマ(90分/コマ)で構成されており、4日間(2コマ/日)で終了します。

※科目履修等プログラムで受講の場合は最終日が試験日となります。

※講義終了ごとに日本人教員による解説(補講)が行われます。

※シラバスや出願書類は10月公開予定です。

上記日程は変わることがあります。ウェブサイトにて最新の情報をご確認ください。



Effrossyni Gkrania-Klotsas
ケンブリッジ大学
感染症研究 疫学ユニット・研究員



Marcello Pagano
ハーバード公衆衛生大学院
生物統計学・教授



Ichiro Kawachi
ハーバード公衆衛生大学院
社会疫学学科長・教授



Alastair Gray
オックスフォード大学
医療経済学・教授



Stefanos Kales
ハーバード公衆衛生大学院
環境保健学・准教授

各種問い合わせに関しては下記まで

帝京大学公衆衛生学研究科 事務部教務課 03-3964-3294(直通) tsphgakui@teikyo-u.ac.jp